

溢れる光、一層の開放感とともに一日がさらに長く感じられる今日この頃ですが、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

早速ですが、下記のように演奏会が開催されますのでご案内させていただきます。ご都合よろしければ、どうぞお出掛け下さい。

**「新作歌曲の会／第18回演奏会」**

**日時：2017年7月15日（土）**

**開場：13時30分　開演：14時開演。**

**場所：東京文化会館小ホール（上野）**

**~~全席自由：4000円（割引させていただきます）~~**

会場は、東京・上野にある世界遺産、コルビュジェ設計の国立西洋美術館の隣の東京文化会館小ホールです（コルビュジェの弟子、前川國彦が設計。小ホールの響きは大変優れていて、良い音で音楽を聴くことができます）。

今回の歌手は**森朱美**さん（二期会会員　ソプラノ歌手）、ピアノ伴奏は**和泉眞弓**さんが担当致します。

和泉耕二作品「重吉のうた2」は、昨年に引き続き、八木重吉の詩に作曲しています。昨年の3編とあわせて6編よりなる組曲を構想致しました。発表の新作3編は、すでにご存知の方もいらっしゃるかも知れませんが「虫」「うつくしいもの」「母をおもう」という詩です。

重吉は1898年（明治31年）に現・町田市相原町に生まれ、結核により29歳でこの世を去りました。私が重吉の詩に惹かれたのは、手を触れることを憚るほどの「ひたすらさ」「純粹さ」の存在とともに、五感を呼び覚ます彼の表現（美しい刺激）に強く惹かれたからです。作曲に当たっては、前回も今回も難解なスタイルを取らず、重吉の思い大切にすることを心掛けました。それでは、当日お会いできますこと楽しみにしております。

和泉耕二

2017.6